

## 新聞読んだ考えた

八戸学院光星高3年  
いちかわ みく  
市川 美空さん

2021年11月8日付1面「介護、保育、看護  
賃上げ」 政府は11月7日、他業種に比べて処  
遇改善が遅れている介護職や保育士、看護師らの  
収入を引き上げる検討に入った。岸田文雄首相  
は、新型コロナウイルスの最前線や福祉の現場で  
働く人の賃金アップを分配戦略の柱に位置付け  
る。



介護職や保育士、看護師は  
仕事量が多い割に賃金が低い  
とっていました。介護の仕  
事をしている母から、仕事量  
が多く大変だという話をよく  
聞きます。母以外にもそう思  
っている人が多いと思いま  
す。

そのような状況にありなが  
らも、その人たちが仕事を続  
けている理由は、やりがいの  
ある仕事だからではないでし  
ょうか。母は「ありがとう」

## 介護士らの処遇改善を

と言ってもらえるだけで、頑  
張ってよかったと思つと話し  
ていました。その一言で次も  
頑張れるそうです。保育士も  
同じで、子どもたちの笑顔や  
感謝の言葉で頑張れるのは  
ないでしょうか。低賃金、重  
労働で少子高齢化社会やコロ  
ナ禍の最前線に立つ人たちの  
処遇を少しでも改善してほ  
しいです。

私は誰かを笑顔にしてあげ  
られる、感謝してもらえよう  
うな大人になりたいです。そ  
のためには努力が必要です。  
今の自分を見つめ、相手の気  
持ちを考えて行動できるように、  
日々生活しようと思いま  
す。